

## タイトル:フルボ酸によるアレルギー性鼻炎やアトピー性皮膚炎の軽減

■フルボ酸は、I型アレルギーを軽減することがわかりました。

### 【用語解説】

- ◆ I型アレルギーとは、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、気管支喘息などで、正常人は反応しない抗原に、IgE抗体が反応することで発症します。
- ◆ なお、アトピー性皮膚炎は、皮膚バリア機能の低下により、炎症が長引きやすく、さらにI型とIV型アレルギーの混合型になっているため、病状が複雑です。

### 【詳しい説明】

筑波大学は、I型アレルギーの発症機序とフルボ酸の関係を研究し、フルボ酸の皮膚への効果を明らかにしました。

すなわち、フルボ酸は、I型アレルギーの発症において、次の3つの段階で作用することがわかりました。

- 第1は、図1の「X」。抗原抗体反応の段階です。
- 第2は、図中の「Y」。IgE抗体がレセプターと結合する段階です。
- 第3は、図中の「Z」。カルシウムイオンの流入によって起こる細胞内の顆粒の放出によって、アレルギー反応が起きます。

□これらの段階を抑制・遮断することによってI型アレルギーを軽減します。

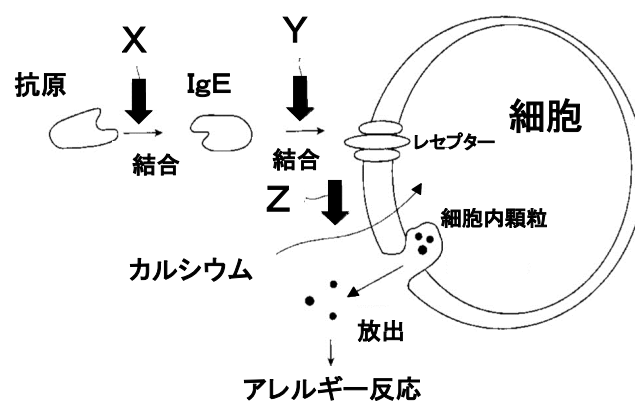


図1. フルボ酸がアレルギーの発生を軽減する仕組み

出典: Yamada, P. et al. (2007): Biosci. Biotechnol. Biochem., 71(5), 1294-1305.